

JOHANN SEBASTIAN BACH

バッハ：マタイ受難曲

岐阜バッハ合唱団演奏会2024



公益財団法人岐阜県教育文化財団助成事業

2024年 11月29日[金] 18:00 開演 17:20 開場

岐阜 サラマンカホール 入場料=3,500円 (当日共・全自由席)

指揮 = 植松 峻
合唱 = 岐阜バッハ合唱団
管弦楽 = 名古屋バッハ合奏団
オルガン = 村上 杏
独唱 = ソプラノ 川島 幸子
 アルト 三輪 陽子
 テノール 北村 敏則 (福音史家)
 バリトン 林 剛一 (イエス)
 バリトン 滝沢 博 (ピラト、ペテロ)

「マタイ受難曲」は今も音楽作品の中で最高峰として
光り輝きつづけ、多くの人々に『憧れ』の作品とな
っています。

冒頭から始まる重厚な合唱は聞く人々を壮大なバッ
ハの音楽へと引き入れ、終曲の8声部の合唱では深
い満足感へと導いてくれることと思います。

●入場券のお求め=岐阜バッハ合唱団員／サラマンカホール・チケットセンター窓口のみ(9:00~21:30)／松栄堂楽器本店プレイガイド 058-265-0481

●主催=岐阜バッハ合唱団／●問合せ先=岐阜バッハ合唱団事務局 090-1744-9647(馬場)

BACH: MATTHÄUS-PASSION BWV244

GIFU BACH-CHOR NAGOYA BACH-ORCHESTRA TAKASHI UEMATSU

SACHIKO KAWASHIMA, SOPRANO

YOKO MIWA, ALTO

TOSHINORI KITAMURA, EVANGELIST, TENOR

KOICHI HAYASHI, JESUS, BARITONE

HIROSHI TAKIZAWA, PILATE, PETER, BARITONE



植松 峻

指揮

東京学芸大学、東京芸術大学卒業。
ウィーン国立音楽大学留学。
1976年に岐阜バッハ合唱団を設立。名古屋芸術大
学助教授、岐阜大学教授、椋山女学園大学教授を
歴任。現在、岐阜大学名誉教授。岐阜市在住。



川島幸子

ソプラノ独唱

東京音楽大学ピアノ科卒
業、ワイマール音楽大学
大学院声楽科修了。愛知
県立芸術大学准教授。
横浜市在住。



三輪陽子

アルト独唱

愛知県立芸術大学卒業、
同大学院修了。二期会会
員、愛知県立芸術大学、
金城学院大学などの非
常勤講師。愛西市在住。



北村敏則

テノール独唱
福音史家

京都市立芸術大学卒
業、同大学院修了。
関西二期会正会員、京
都市立芸術大学准教
授。京都市在住。



林 剛一

バリトン独唱
イエス

東京芸術大学卒業、
同大学院修了。
愛知教育大学特別
教授、
名古屋市在住。



滝沢 博

バリトン独唱
ピラト、ペテロ

愛知県立芸術大学卒
業、同大学院修了。
フリーの声楽家。
滝沢音楽教室主宰。
長久手市在住。

岐阜バッハ合唱団・名古屋バッハ合奏団

東京芸術大学の「バッハカンタータクラブ」を創設し、その学生指揮者として活動した植松峻が、ウィーン留学後の1976年に岐阜の地に「岐阜バッハ合唱団」を15人のメンバーで設立。

「カンタータ4番」と「カンタータ12番」で第1回の演奏会活動を開始、以後、「ヨハネ受難曲」、「ミサ曲短調」、「マタイ受難曲」と次々に大曲を取り上げ、名古屋バッハ合奏団による魅力あるオーケストラ付きの合唱曲を味わっていただいています。

今回は、合唱団として8回目となる「マタイ受難曲」を演奏します。



バッハの「マタイ受難曲」

バッハはバロック時代最大の作曲家で、宗教音楽を中心に数々の傑作を残し、偉大な業績から「音楽の父」と称えられています。そのバッハが作曲した作品数は現存するものだけでも1,000曲を超えています。マタイ受難曲は、彼が作曲した作品の中でも傑作の1つに挙げられ、その音楽の壮大さ、大胆さ、精神性から「人類が生んだ最も崇高な音楽」と言われています。そんなマタイ受難曲とはどんな作品なのでしょうか。

この作品が作曲されたのは1727年、バッハ42歳の時の作品です。このときドイツのライプツィヒで、バッハは音楽家として最高潮の時期にありました。しかし1727年に初演された後は評価されず、注目されない時期が続きます。初演から約100年後にドイツ人でロマン派を代表する作曲家の一人、メンデルスゾーンが再演したことで、バッハの死後、この作品の真価が広く認識されるようになりました。

マタイ受難曲の「受難」とは、イエス・キリス

トの十字架での死を指します。その受難の物語は、新約聖書の中でマタイ、マルコ、ルカ、ヨハネの4人によって福音書として記されています。マタイ受難曲はその一つ「マタイによる福音書」をもとにしたテキストによって作られました。受難の物語は、教会で朗読されていましたが、朗読するだけではなく、一定の節回しをつけて「朗唱」する習慣ができあがり、その後音楽をつけて受難の物語を伝える「受難曲」が作られるようになりました。

この作品の歌詞の内容は、以下の3種類からできています。

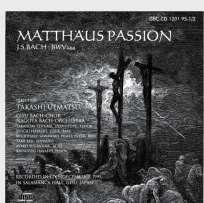
- ① 聖書から採られた詩句
- ② コラール(讃美歌)の歌詞
- ③ 自由に創作された詩(自由詩)

これらがアリアや福音史家役の語り、合唱、重唱などを取り混ぜて劇的に展開していきます。演技や舞台装置のないオペラと考えただけだと分かりやすいでしょう。全曲演奏すると約3時間という長大な作品です。

岐阜バッハ合唱団マタイ受難曲演奏会ライブ録音のディスコグラフィ（過去7回の演奏分）



1987年マタイ受難曲



1995年マタイ受難曲



2000年マタイ受難曲



2005年マタイ受難曲



2008年マタイ受難曲



2014年マタイ受難曲



2018年マタイ受難曲

2024. 11/29 [金] 18:00 開演 サラマンカホール 入場料=3,500円 (当日共・全自由席)

● 問合せ先=岐阜バッハ合唱団事務局 090-1744-9647(馬場)